

2022年2月5日

新型コロナウイルス感染に関するご報告

社会福祉法人はるにれの里
理事長 木村 昭一

生活介護事業所ほしのみ及び共同生活援助事業所あしり内のグループホームから、新型コロナウイルス感染者が確認されたため、次の通り経過報告させていただきます。

2022年1月27日、他法人の居宅介護事業所より当該事業所在籍ヘルパーについて新型コロナウイルス感染症 PCR 検査陽性判定が確認されたと連絡があり、当日利用されていたほしのみ利用者が濃厚接触者に該当することが判明いたしました。即座に該当利用者を含む利用者11名、職員20名の抗原検査を実施し「陰性」を確認いたしました。

しかし、翌28日朝に濃厚接触者にあたる利用者がグループホーム内で発熱されたため、急遽グループホームを閉鎖対応とし、在宅の皆様にも利用をお休みいただきました。発熱された利用者は29日、医療機関にて PCR 検査を実施いたしましたが、翌30日に「陽性」が確認されました。

その後、30日に2名、31日には1名の利用者の発熱が確認され、それぞれ医療機関にて PCR 検査を実施しましたが、2月1日までに3名とも陽性が確認されました。

1月31日より札幌市保健所管理の下、濃厚接触者の特定をおこない、2月1日に利用者及び職員41名の PCR 検査を実施いたしましたが、2月2日に、利用者5名、職員1名の陽性が判明いたしました。結果として2月2日までに、合計9名の陽性者が判明しております。また、その後も発熱する職員が確認されたため、2月4日に利用者及び職員18名について PCR 再検査を実施し、新たに職員1名の陽性が確認されました。2月5日時点の陽性者は合計10名となっております。

現在、ほしのみ閉所に伴い関係グループホーム5カ所は閉鎖対応中となっております。

新型コロナウイルス感染症の拡大が始まって以降、当法人及び当事業所においても感染対策を強化しながら支援を続けてまいりましたが、今回感染を広げる結果となってしまったことに対し、心よりお詫び申し上げます。

ほしのみみの再開につきましては、保健所指導の下調整を続けてまいります。

皆様には、ご心配、ご不便をおかけしますが、ご利用の皆様のご健康と安全を第一に考え、一日も早く通常の生活に戻るよう対応してまいります。